

大学番号：私立106

注3

[令和2年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

東京都市大学 理工学部 自然科学科

注2

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人五島育英会
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育支援センター

職名・氏名 係長 ^{イワタ}岩田 ^{ユウ}優

電話番号 03-5707-0104

（夜間） 03-5707-0104

F A X 03-5707-2200

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学部

＜自然科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人五島育英会

(2) 大学名

東京都市大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒158-8557
東京都世田谷区玉堤1-28-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカハシ ハルカ) 高橋 遠 (平成30年5月)		
学長	(ミキ チトシ) 三木 千壽 (平成27年1月)		
学部長	(オオウエ ヒロシ) 大上 浩 (平成30年4月)		
主任教授	(イイジマ マサノリ) 飯島 正徳 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 自然科学科 学士(理学)	理学関係	4 年	60 人	- 年次 人	240 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60 () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	1.01 倍	- 倍	
志願者数	1,328 () [3]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	1,295 () [2]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	364 () [2]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	61 () [2]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.01										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	61 [2] (-)	— [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	61 [2] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	61人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学部 自然科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	哲学(1)	1前		2							1
	哲学(2)	1後		2							1
	倫理学(1)	1前		2							1
	倫理学(2)	1後		2							1
	倫理学(a)	1後		1							1
	倫理学(b)	1後		1							1
	文化人類学	1後		2							1
	視覚芸術史(1)	1前		2							1
	視覚芸術史(2)	1後		2							1
	デザイン概論(1)	2前		2							1
	デザイン概論(2)	2後		2							1
	日本文学	2前		2							1
	日本史(1)	1前		2							1
	日本史(2)	1後		2							1
	西洋史(1)	1前		2							1
	西洋史(2)	1後		2							1
	民俗学(a)	1後		1							1
	民俗学(b)	1後		1							1
	宗教学	1前		2							1
	社会学(1a)	1前		1							1
	社会学(1b)	1前		1							1
	社会学(2a)	1後		1							1
	社会学(2b)	1後		1							1
	社会学入門(a)	1前		1							1
	社会学入門(b)	1前		1							1
	経済学(1a)	1前		1							1
	経済学(1b)	1前		1							1
	経済学(2a)	1後		1							1
	経済学(2b)	1後		1							1
	日本経済論(a)	3前		1							1
	日本経済論(b)	3前		1							1
	政治学(1a)	1前		1							1
	政治学(1b)	1前		1							1
	政治学(2a)	1後		1							1
	政治学(2b)	1後		1							1
	日本の政治(a)	2前		1							1
	日本の政治(b)	2前		1							1
	国際関係論(1a)	1前		1							1
	国際関係論(1b)	1前		1							1
	国際関係論(2a)	1後		1							1
国際関係論(2b)	1後		1							1	
日本国憲法	1前・後		2							1	
法学	1前		2							1	
民法	1後		2							1	
西洋経済史	1後		2							1	
人文地理学(a)	1前		1							1	
人文地理学(b)	1前		1							1	
現代中国論	1後		2							1	
教育学(1a)	1前		1							2	
教育学(1b)	1前		1							2	
教育学(2a)	1後		1							2	
教育学(2b)	1後		1							2	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	哲学(1)	1前		2							1
	哲学(2)	1後		2							1
	倫理学(1)	1前		2							1
	倫理学(2)	1後		2							1
	倫理学(a)	1後		1							1
	倫理学(b)	1後		1							1
	文化人類学	1後		2							1
	視覚芸術史(1)	1前		2							1
	視覚芸術史(2)	1後		2							1
	デザイン概論(1)	2前		2							1
	デザイン概論(2)	2後		2							1
	日本文学	2前		2							1
	日本史(1)	1前		2							1
	日本史(2)	1後		2							1
	西洋史(1)	1前		2							1
	西洋史(2)	1後		2							1
	民俗学(a)	1後		1							1
	民俗学(b)	1後		1							1
	宗教学	1前		2							1
	社会学(1a)	1前		1							1
	社会学(1b)	1前		1							1
	社会学(2a)	1後		1							1
	社会学(2b)	1後		1							1
	社会学入門(a)	1前		1							1
	社会学入門(b)	1前		1							1
	経済学(1a)	1前		1							1
	経済学(1b)	1前		1							1
	経済学(2a)	1後		1							1
	経済学(2b)	1後		1							1
	日本経済論(a)	3前		1							1
	日本経済論(b)	3前		1							1
	政治学(1a)	1前		1							1
	政治学(1b)	1前		1							1
	政治学(2a)	1後		1							1
	政治学(2b)	1後		1							1
	日本の政治(a)	2前		1							1
	日本の政治(b)	2前		1							1
	国際関係論(1a)	1前		1							1
	国際関係論(1b)	1前		1							1
	国際関係論(2a)	1後		1							1
国際関係論(2b)	1後		1							1	
日本国憲法	1前・後		2							1	
法学	1前		2							1	
民法	1後		2							1	
西洋経済史	1後		2							1	
人文地理学(a)	1前		1							1	
人文地理学(b)	1前		1							1	
現代中国論	1後		2							1	
教育学(1a)	1前		1							2	
教育学(1b)	1前		1							2	
教育学(2a)	1後		1							2	
教育学(2b)	1後		1							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	スポーツ・健康論	1前・後		2							3
	心理学(1a)	1前		1							1
	心理学(1b)	1前		1							1
	心理学(2a)	1後		1							1
	心理学(2b)	1後		1							1
	心理学概論(a)	1前		1							1
	心理学概論(b)	1前		1							1
	心理学入門	1前		2							1
	社会とジェンダー(a)	1後		1							1
	社会とジェンダー(b)	1後		1							1
	国際化と異文化理解(a)	3後		1							1
	国際化と異文化理解(b)	3後		1							1
	日本文化の伝承(a)	1後		1							1
	日本文化の伝承(b)	1後		1							1
	論理学(1a)	1前		1							1
	論理学(1b)	1前		1							1
	論理学(2a)	1後		1							1
	論理学(2b)	1後		1							1
	ボランティア(1)	1・2・3・4		1			1				
	ボランティア(2)	1・2・3・4		1			1				
	教養ゼミナール(1)	1前・後		2							4
	教養ゼミナール(2)	1前・後		2			1				6
	教養特別講義(1)	1前・後		2							2
	教養特別講義(2)	1前・後		2							1
体育科目	基礎体育(1)	1前		1							4
	基礎体育(2)	1後		1							4
	応用体育(1)	2前・後		1							4
	応用体育(2)	2前・後		1							4
外国語科目	Communication Skills(1)	1前	1								2
	Communication Skills(2)	1後	1								2
	Reading and Writing(1a)	1前	0.5								2
	Reading and Writing(1b)	1前	0.5								2
	Reading and Writing(2a)	1後	0.5								2
	Reading and Writing(2b)	1後	0.5								2
	Basic English Training(a)	2前・後		1							1
	Basic English Training(b)	2前・後		1							1
	Grammar(1a)	2前・後		1							1
	Grammar(1b)	2前・後		1							1
	Grammar(2a)	2前・後		1							1
	Grammar(2b)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(1a)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(1b)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(2a)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(2b)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(3a)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(3b)	2前・後		1							1
	Critical Reading(1a)	2前・後		1							1
	Critical Reading(1b)	2前・後		1							1
	Critical Reading(2a)	2前・後		1							1
	Critical Reading(2b)	2前・後		1							1
	Critical Reading(3a)	2前・後		1							1
	Critical Reading(3b)	2前・後		1							1
	Critical Listening(1a)	2前・後		1							1
	Critical Listening(1b)	2前・後		1							1
	Critical Listening(2a)	2前・後		1							1
	Critical Listening(2b)	2前・後		1							1
	Critical Listening(3a)	2前・後		1							1
	Critical Listening(3b)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(1a)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(1b)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(2a)	2前・後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	スポーツ・健康論	1前・後		2							4
	心理学(1a) (未開講)	1前		1							1
	心理学(1b) (未開講)	1前		1							1
	心理学(2a) (未開講)	1後		1							1
	心理学(2b) (未開講)	1後		1							1
	心理学概論(a)	1前		1							1
	心理学概論(b)	1前		1							1
	心理学入門	1前		2							1
	社会とジェンダー(a)	1後		1							1
	社会とジェンダー(b)	1後		1							1
	国際化と異文化理解(a)	3後		1							1
	国際化と異文化理解(b)	3後		1							1
	日本文化の伝承(a)	1後		1							1
	日本文化の伝承(b)	1後		1							1
	論理学(1a)	1前		1							1
	論理学(1b)	1前		1							1
	論理学(2a)	1後		1							1
	論理学(2b)	1後		1							1
	ボランティア(1)	1・2・3・4		1				1			
	ボランティア(2)	1・2・3・4		1				1			
	教養ゼミナール(1)	1前・後		2							1
	教養ゼミナール(2)	1前・後		2			1				6
	教養特別講義(1)	1前・後		2							1
	教養特別講義(2)	1前・後		2							1
体育科目	基礎体育(1)	1前		1							4
	基礎体育(2)	1後		1							3
	応用体育(1)	2前・後		1							4
	応用体育(2)	2前・後		1							4
外国語科目	Communication Skills(1)	1前	1								8
	Communication Skills(2)	1後	1								8
	Reading and Writing(1a)	1前	0.5								8
	Reading and Writing(1b)	1前	0.5								8
	Reading and Writing(2a)	1後	0.5								8
	Reading and Writing(2b)	1後	0.5								8
	Basic English Training(a)	2前・後		1							1
	Basic English Training(b)	2前・後		1							1
	Grammar(1a)	2前・後		1							1
	Grammar(1b)	2前・後		1							1
	Grammar(2a)	2前・後		1							1
	Grammar(2b)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(1a)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(1b)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(2a)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(2b)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(3a)	2前・後		1							1
	Test Taking Skills(3b)	2前・後		1							1
	Critical Reading(1a)	2前・後		1							1
	Critical Reading(1b)	2前・後		1							1
	Critical Reading(2a)	2前・後		1							1
	Critical Reading(2b)	2前・後		1							1
	Critical Reading(3a)	2前・後		1							1
	Critical Reading(3b)	2前・後		1							1
	Critical Listening(1a)	2前・後		1							1
	Critical Listening(1b)	2前・後		1							1
	Critical Listening(2a)	2前・後		1							1
	Critical Listening(2b)	2前・後		1							1
	Critical Listening(3a)	2前・後		1							1
	Critical Listening(3b)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(1a)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(1b)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(2a)	2前・後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	Communication Strategies(2b)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(3a)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(3b)	2前・後		1							1
	Academic English(1a)	2前・後		1							1
	Academic English(1b)	2前・後		1							1
	Academic English(2a)	2前・後		1							1
	Academic English(2b)	2前・後		1							1
	Academic English(3a)	2前・後		1							1
	Academic English(3b)	2前・後		1							1
	Literature in English(1a)	2前・後		1							1
	Literature in English(1b)	2前・後		1							1
	Literature in English(2a)	2前・後		1							1
	Literature in English(2b)	2前・後		1							1
	Global Culture(1a)	2前・後		1							1
	Global Culture(1b)	2前・後		1							1
	Global Culture(2a)	2前・後		1							1
	Global Culture(2b)	2前・後		1							1
	Language Sciences(1a)	2前・後		1							1
	Language Sciences(1b)	2前・後		1							1
	Language Sciences(2a)	2前・後		1							1
	Language Sciences(2b)	2前・後		1							1
	Global Society(1a)	2前・後		1							1
	Global Society(1b)	2前・後		1							1
	Global Society(2a)	2前・後		1							1
	Global Society(2b)	2前・後		1							1
	海外・特別選抜セミナー	1前・後		2							1
	外国語特別講義(a)	2前・後		1							1
	外国語特別講義(b)	2前・後		1							1
	ドイツ語(1a)	2前・後		1							1
	ドイツ語(1b)	2前・後		1							1
	ドイツ語(2a)	2前・後		1							1
	ドイツ語(2b)	2前・後		1							1
	フランス語(1a)	2前・後		1							1
	フランス語(1b)	2前・後		1							1
	フランス語(2a)	2前・後		1							1
	フランス語(2b)	2前・後		1							1
	スペイン語(1a)	2前・後		1							1
	スペイン語(1b)	2前・後		1							1
	スペイン語(2a)	2前・後		1							1
	スペイン語(2b)	2前・後		1							1
	イタリア語(1a)	2前・後		1							1
	イタリア語(1b)	2前・後		1							1
	イタリア語(2a)	2前・後		1							1
	イタリア語(2b)	2前・後		1							1
	中国語(1a)	2前・後		1							1
	中国語(1b)	2前・後		1							1
	中国語(2a)	2前・後		1							1
	中国語(2b)	2前・後		1							1
	アラビア語(1a)	2前・後		1							1
	アラビア語(1b)	2前・後		1							1
	アラビア語(2a)	2前・後		1							1
	アラビア語(2b)	2前・後		1							1
	韓国語(1a)	2前・後		1							1
	韓国語(1b)	2前・後		1							1
	韓国語(2a)	2前・後		1							1
	韓国語(2b)	2前・後		1							1
	日本語表現(a)	2前・後		1							1
	日本語表現(b)	2前・後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	Communication Strategies(2b)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(3a)	2前・後		1							1
	Communication Strategies(3b)	2前・後		1							1
	Academic English(1a)	2前・後		1							1
	Academic English(1b)	2前・後		1							1
	Academic English(2a)	2前・後		1							1
	Academic English(2b)	2前・後		1							1
	Academic English(3a)	2前・後		1							1
	Academic English(3b)	2前・後		1							1
	Literature in English(1a)	2前・後		1							1
	Literature in English(1b)	2前・後		1							1
	Literature in English(2a)	2前・後		1							1
	Literature in English(2b)	2前・後		1							1
	Global Culture(1a)	2前・後		1							1
	Global Culture(1b)	2前・後		1							1
	Global Culture(2a)	2前・後		1							1
	Global Culture(2b)	2前・後		1							1
	Language Sciences(1a)	2前・後		1							1
	Language Sciences(1b)	2前・後		1							1
	Language Sciences(2a)	2前・後		1							1
	Language Sciences(2b)	2前・後		1							1
	Global Society(1a)	2前・後		1							1
	Global Society(1b)	2前・後		1							1
	Global Society(2a)	2前・後		1							1
	Global Society(2b)	2前・後		1							1
	海外・特別選抜セミナー	1前・後		2							1
	外国語特別講義(a)	2前・後		1							1
	外国語特別講義(b)	2前・後		1							1
	ドイツ語(1a)	2前・後		1							1
	ドイツ語(1b)	2前・後		1							1
	ドイツ語(2a)	2前・後		1							1
	ドイツ語(2b)	2前・後		1							1
	フランス語(1a)	2前・後		1							1
	フランス語(1b)	2前・後		1							1
	フランス語(2a)	2前・後		1							1
	フランス語(2b)	2前・後		1							1
	スペイン語(1a)	2前・後		1							1
	スペイン語(1b)	2前・後		1							1
	スペイン語(2a)	2前・後		1							1
	スペイン語(2b)	2前・後		1							1
	イタリア語(1a)	2前・後		1							1
	イタリア語(1b)	2前・後		1							1
	イタリア語(2a)	2前・後		1							1
	イタリア語(2b)	2前・後		1							1
	中国語(1a)	2前・後		1							1
	中国語(1b)	2前・後		1							1
	中国語(2a)	2前・後		1							1
	中国語(2b)	2前・後		1							1
	アラビア語(1a)	2前・後		1							1
	アラビア語(1b)	2前・後		1							1
	アラビア語(2a)	2前・後		1							1
	アラビア語(2b)	2前・後		1							1
	韓国語(1a)	2前・後		1							1
	韓国語(1b)	2前・後		1							1
	韓国語(2a)	2前・後		1							1
	韓国語(2b)	2前・後		1							1
	日本語表現(a)	2前・後		1							1
	日本語表現(b)	2前・後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
PBL	SD PBL(1)	1前	1			1	3	1				
	SD PBL(2)	2前	1				1					
	SD PBL(3)	3後	1			1						
理工学基礎科目	微分積分学(1)	1前	2			1						
	微分積分学(2)	1後		2		1						
	線形代数学(1)	1前	2			1						
	線形代数学(2)	1後		2		1						
	微分方程式論	2前		2		1						
	ベクトル解析学	2前		2		1						
	フーリエ解析学	2後		2		1						
	数理統計学	2前		2							1	
	物理学(1)	1前		2		1						
	物理学(2)	1前		2		1						
	物理学(3)	1後		2				1				
	物理学(4)	1後		2				1				
	電磁気学基礎	2前		2		1						
	物理学実験	1前・後		2				1				
	化学(1)	1前		2				1				
	化学(2)	1後		2				1				
	化学実験	1前・後		2		1		2				
	生物学(1)	1前		2		1						
	生物学(2)	1後		2		1						
	生物学実験	1前・後		2		1	1					
	地学(1)	1前		2			1					
	地学(2)	1後		2			1					
	地学実験	1前・後		2			2					
	情報リテラシー演習	1前	1				1				1	
	コンピュータ概論	1後		2								1
	プログラミング基礎	1後		2								1
	数値解析	2後		2								1
	技術者倫理	2前・後	2				1					
	インターンシップ(1)	1・2・3・4		1				1				
	インターンシップ(2)	1・2・3・4		1				1				
	海外体験実習(1)	1・2・3・4		2								1
	海外体験実習(2)	1・2・3・4		2								1
	金属加工(製図・実習含)	2後		2								1
	電気工学概論(実習含)	2前		2								1
小計(34科目)	-		7	58	0	5	5	4	0	0	7	
専門科目	理工学と生活	1後		2								8
	工業概論	1後		2								1
	原子力汎論	1後		2								4
	量子力学入門	2後		2				1				
	論理的な問題解決の進め方	3後		2								1
	自然科学科実験及び演習	2前	2			3	4	3				
	野外調査法及び実習(1)	2後		3		1	3	1				
	野外調査法及び実習(2)	3前		3		1	3	1				
	自然と数理	2後	2			1	3					
	現代科学論	2後	2			1						
	生涯学習概論	2前		2								2
	博物館教育論	2後		2								1
	博物館学(1)	2前		2			1					
	博物館学(2)	2後		2			1					2
	博物館学(3)	3前		2			1					3
	映像表現論	2後		2			1					
	博物館資料保存論	3後		2								2
	博物館展示論	3前		2								1
	博物館学実習(1)	3前		1			1					1
	博物館学実習(2)	3後		2			1					2
	特別講義(1)	1・2・3・4		2			1					
	特別講義(2)	1・2・3・4		2			1	2				
	特別講義(3)	1・2・3・4		2			1					
力学	1前		2			1						
力学演習	1前		1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
PBL	SD PBL(1)	1前	1				4	4	3			
	SD PBL(2)	2前	1					1				
	SD PBL(3)	3後	1			1						
理工学基礎科目	微分積分学(1)	1前	2			1						
	微分積分学(2)	1後		2		1						
	線形代数学(1)	1前	2			1						
	線形代数学(2)	1後		2		1						
	微分方程式論	2前		2		1						
	ベクトル解析学	2前		2		1						
	フーリエ解析学	2後		2		1						
	数理統計学	2前		2								
	物理学(1)	1前		2		1						1
	物理学(2)	1前		2		1						1
	物理学(3)	1後		2				1				1
	物理学(4)	1後		2				1				1
	電磁気学基礎	2前		2		1						
	物理学実験	1前・後		2				1				
	化学(1)	1前		2				1				
	化学(2)	1後		2				1				
	化学実験	1前・後		2		1		2				
	生物学(1)	1前		2		1						
	生物学(2)	1後		2		1						
	生物学実験	1前・後		2		1	1					
	地学(1)	1前		2			1					
	地学(2)	1後		2			1					
	地学実験	1前・後		2			2					
	情報リテラシー演習	1前	1				1					
	コンピュータ概論	1後		2								1
	プログラミング基礎	1後		2								1
	数値解析	2後		2								1
	技術者倫理	2前・後	2				1					
	インターンシップ(1)	1・2・3・4		1				1				
	インターンシップ(2)	1・2・3・4		1				1				
	海外体験実習(1)	1・2・3・4		2								1
	海外体験実習(2)	1・2・3・4		2								1
	金属加工(製図・実習含)	2後		2								1
	電気工学概論(実習含)	2前		2								1
小計(34科目)	-		7	58	0	4	5	3	0	0	8	
専門科目	理工学と生活	1後		2								8
	工業概論	1後		2								1
	原子力汎論	1後		2								2
	量子力学入門	2後		2					1			
	論理的な問題解決の進め方	3後		2								1
	自然科学科実験及び演習	2前	2			3	4	3				
	野外調査法及び実習(1)	2後		3		1	3	1				
	野外調査法及び実習(2)	3前		3		1	3	1				
	自然と数理	2後	2			1	3					
	現代科学論	2後	2			1						
	生涯学習概論	2前		2								2
	博物館教育論	2後		2								1
	博物館学(1)	2前		2			1					
	博物館学(2)	2後		2			1					2
	博物館学(3)	3前		2			1					3
	映像表現論	2後		2			1					
	博物館資料保存論	3後		2								2
	博物館展示論	3前		2								1
	博物館学実習(1)	3前		1			1					1
	博物館学実習(2)	3後		2			1					1
	特別講義(1)	1・2・3・4		2			1					
	特別講義(2)	1・2・3・4		2			1	2				
	特別講義(3)	1・2・3・4		2			1					
力学	1前		2			1						
力学演習	1前		1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	波動・熱力学	1後	2									
	電磁気学	2前	2			1		1				
	相対論入門	2後	2			1						
	分子構造論	2前	2			1						
	生命の化学	2後	2			1						
	分子物性論	2後	2			1		1				
	分子の運動	3前	2					1				
	進化論	2前	2			1	1					
	動物学	2後	2				1					
	植物学	2後	2			1						
	生命と物質	3前	2			1						
	微生物学	3後	2			1					1	
	地球変動論	2前	2				1					
	プレート・テクトニクス	2前	2								1	
	宇宙科学	2後	2					1				
	惑星科学	3前	2				1					
	古生物学	3前	2				1					
	地理学	3前	2								1	
	数学演習(1)	1前	1								1	
	数学演習(2)	1後	1								1	
	基礎論理回路	1後	2								1	
	離散数学	1前	2								1	
	集合と論理	2前	2				1					
	極限と位相	3前	2			1	1					
	基礎確率統計	1前	2								1	
	関数論	2後	2				1					
	代数学(1)	2前	2								1	
	代数学(2)	2後	2								1	
	代数学(3)	2後	2								1	
	幾何学(1)	2前	2			1						
	幾何学(2)	2後	2				1					
	幾何学(3)	2後	2				1					
	ルベグ積分論	3後	2								1	
	関数解析学	3後	2			1						
	現代代数学	3前	2			1	1					
	計算物理学	3後	2				1					
	事例研究(1)	3前	4			6	7	5				
	事例研究(2)	3後	2			6	7	5				
	卒業研究(1)	4前	3			6	7	4				
	卒業研究(2)	4後	3			6	7	4				
	小計(65科目)	-	18	114	0	6	7	5	0	0	35	
	合計(273科目)	-	32	364	0	6	7	5	0	0	94	
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目10単位以上、体育科目1単位以上(選択必修1単位を含む)、外国語科目8単位以上(必修4単位を含む)、PBL科目3単位(必修3単位を含む)、理工学基礎科目30単位以上(必修7単位を含む)、専門科目60単位以上(必修18単位を含む)を修得するとともに各コースのいずれかの要件を充たし、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>[自然コース] 理工学基礎科目 (コース必修(物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験)8単位、コース選択必修(化学(1)、化学(2)、生物学(1)、生物学(2)、地学(1)、地学(2))から6単位) 専門科目 (コース必修(野外調査法及び実習(1)、博物館学(1)、映像表現論、力学、分子構造論、生命の化学、分子物性論、進化論、生命と物質、地球変動論、宇宙科学)23単位、コース選択必修(波動・熱力学、電磁気学、相対論入門、分子の運動、動物学、植物学、微生物学、プレート・テクトニクス、惑星科学、古生物学、地理学)から14単位)</p> <p>[数理コース] 理工学基礎科目 (コース必修(微分積分学(2)、線形代数学(2)、微分方程式論、ベクトル解析学、フーリエ解析学)10単位、コース選択必修(物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験)から2単位) 専門科目 (コース必修(集合と論理、関数論、代数学(1)、幾何学(1)、関数解析学、現代代数学、計算物理学)14単位、コース選択必修(数学演習(1)、数学演習(2)、基礎論理回路、離散数学、極限と位相、基礎確率統計、代数学(2)、代数学(3)、幾何学(2)、幾何学(3)、ルベグ積分論)から14単位)</p> <p>(履修科目の登録の上限:24単位(半期))</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	波動・熱力学	1後	2									
	電磁気学	2前	2			1		1				
	相対論入門	2後	2			1						
	分子構造論	2前	2			1						
	生命の化学	2後	2			1						
	分子物性論	2後	2			1		1				
	分子の運動	3前	2					1				
	進化論	2前	2			1	1					
	動物学	2後	2				1					
	植物学	2後	2			1						
	生命と物質	3前	2			1						
	微生物学	3後	2			1					1	
	地球変動論	2前	2				1					
	プレート・テクトニクス	2前	2								1	
	宇宙科学	2後	2					1				
	惑星科学	3前	2				1					
	古生物学	3前	2				1					
	地理学	3前	2								1	
	数学演習(1)	1前	1								1	
	数学演習(2)	1後	1								1	
	基礎論理回路	1後	2								1	
	離散数学	1前	2								1	
	集合と論理	2前	2				1					
	極限と位相	3前	2			1	1					
	基礎確率統計	1前	2								1	
	関数論	2後	2				1					
	代数学(1)	2前	2								1	
	代数学(2)	2後	2								1	
	代数学(3)	2後	2								1	
	幾何学(1)	2前	2			1						
	幾何学(2)	2後	2				1					
	幾何学(3)	2後	2				1					
	ルベグ積分論	3後	2								1	
	関数解析学	3後	2			1						
	現代代数学	3前	2			1	1					
	計算物理学	3後	2				1					
	事例研究(1)	3前	4			6	7	5				
	事例研究(2)	3後	2			6	7	5				
	卒業研究(1)	4前	3			6	7	4				
	卒業研究(2)	4後	3			6	7	4				
	小計(65科目)	-	18	114	0	6	7	5	0	0	32	
	合計(273科目)	-	32	364	0	6	7	5	0	0	102	
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目10単位以上、体育科目1単位以上(選択必修1単位を含む)、外国語科目8単位以上(必修4単位を含む)、PBL科目3単位(必修3単位を含む)、理工学基礎科目30単位以上(必修7単位を含む)、専門科目60単位以上(必修18単位を含む)を修得するとともに各コースのいずれかの要件を充たし、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>[自然コース] 理工学基礎科目 (コース必修(物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験)8単位、コース選択必修(化学(1)、化学(2)、生物学(1)、生物学(2)、地学(1)、地学(2))から6単位) 専門科目 (コース必修(野外調査法及び実習(1)、博物館学(1)、映像表現論、力学、分子構造論、生命の化学、分子物性論、進化論、生命と物質、地球変動論、宇宙科学)23単位、コース選択必修(波動・熱力学、電磁気学、相対論入門、分子の運動、動物学、植物学、微生物学、プレート・テクトニクス、惑星科学、古生物学、地理学)から14単位)</p> <p>[数理コース] 理工学基礎科目 (コース必修(微分積分学(2)、線形代数学(2)、微分方程式論、ベクトル解析学、フーリエ解析学)10単位、コース選択必修(物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験)から2単位) 専門科目 (コース必修(集合と論理、関数論、代数学(1)、幾何学(1)、関数解析学、現代代数学、計算物理学)14単位、コース選択必修(数学演習(1)、数学演習(2)、基礎論理回路、離散数学、極限と位相、基礎確率統計、代数学(2)、代数学(3)、幾何学(2)、幾何学(3)、ルベグ積分論)から14単位)</p> <p>(履修科目の登録の上限:22単位(半期))</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 教育効果向上を企図して、「教育学(1a)」「教育学(1b)」「教育学(2a)」「教育学(2b)」の教員配置を「兼1」から「兼2」へ変更。
- ・ 教育効果向上を企図して、「スポーツ・健康論」の教員配置を「兼3」から「兼4」へ変更。
- ・ クラス編成上の都合により、「教養ゼミナール(1)」の教員配置を「兼4」から「兼1」へ変更。
- ・ クラス編成上の都合により、「基礎体育(2)」の教員配置を「兼4」から「兼3」へ変更。
- ・ 教育効果向上を企図して、「Communication Skills(1)」「Communication Skills(2)」「Reading and Writing(1a)」「Reading and Writing(1b)」「Reading and Writing(2a)」「Reading and Writing(2b)」の教員配置を「兼2」から「兼8」へ変更。
- ・ 教育効果向上を企図して、「SD PBL(1)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3、講師1」から「教授4、准教授4、講師3」に変更。
- ・ 時間割編成上の都合により、「物理学(1)」「物理学(2)」の教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・ 時間割編成上の都合により、「物理学(3)」「物理学(4)」の教員配置を「講師1」から「兼1」に変更。
- ・ 時間割編成上の都合により、「情報リテラシー演習」の教員配置を「准教授1、兼1」から「准教授1」に変更。
- ・ 時間割編成上の都合により、「原子力汎論」の教員配置を「兼4」から「兼2」に変更。
- ・ 時間割編成上の都合により、「博物館学実習(2)」の教員配置を「准教授1、兼2」から「准教授1、兼1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	253 科目	0 科目	273 科目	20 科目 [0]	253 科目 [0]	0 科目 [0]	273 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	心理学(1a)	1	1前	一般	選択	担当教員のやむを得ぬ一身上の都合(介護)により非開講。代替措置は無い。
2	心理学(1b)	1	1前	一般	選択	担当教員のやむを得ぬ一身上の都合(介護)により非開講。代替措置は無い。
3	心理学(2a)	1	1後	一般	選択	担当教員のやむを得ぬ一身上の都合(介護)により非開講。代替措置は無い。
4	心理学(2b)	1	1後	一般	選択	担当教員のやむを得ぬ一身上の都合(介護)により非開講。代替措置は無い。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員のやむを得ぬ一身上の都合(介護)により非開講となった4科目については、選択科目であることから学生の履修への影響はない。また、学生にはウェブページを通じて周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{273} = \boxed{1.46}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	92,263.15 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	92,263.15 m ²				
	運動場用地	33,538.80 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	33,538.80 m ²				
	小 計	125,801.95 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	125,801.95 m ²				
	そ の 他	104,667.33 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	104,667.33 m ²				
	合 計	230,469.28 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	230,469.28 m ²				
(2) 校 舎	専 用	92,212.45 m ² 90,888.74 m²	0.00 m ²	0.00 m ²	92,212.45 m ² 90,888.74 m²	令和2年5月 精査に伴う増加(2)			
	(92,212.45 m ²) (90,888.74 m²)	(0.00 m ²)	(0.00 m ²)	(0.00 m ²)	(92,212.45 m ²) (90,888.74 m²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	103室	31室	199室	13室 (補助職員 7人)	5室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	理工学部自然科学科		18 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	令和2年5月 令和元年東日本台風 による被災状況等の 反映に伴う減少(2)	
	建築都市 デザイン学部	468,482 [95,441] 643,507 [115,480] (457,702 [95,615]) 625,333 [115,266]	16,093 [12,440] 19,934 [15,827] (16,093 [12,440]) (19,934 [15,827])	12,226 [10,936] 16,190 [14,261] (12,226 [10,936]) (16,190 [14,261])	2,159 2,954 (1,935) (2,558)	39,110 40,153 (39,110) (40,153)	9 (9)		9 (9)
	計	468,482 [95,441] 643,507 [115,480] (457,702 [95,615]) 625,333 [115,266]	16,093 [12,440] 19,934 [15,827] (16,093 [12,440]) (19,934 [15,827])	12,226 [10,936] 16,190 [14,261] (12,226 [10,936]) (16,190 [14,261])	2,159 2,954 (1,935) (2,558)	39,110 40,153 (39,110) (40,153)	9 (9)		9 (9)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		令和2年5月 令和元年東日本台風 による被災状況等の 反映に伴う減少(2) 大学全体		
	8,462.33 m ² 8,834.99 m²		919 席 1,191 席		475,811 冊 667,036 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					令和2年5月 精査に伴う減少(2) 大学全体	
	3,711.82 m ² 4,773.11 m²		バスケットコート 2面 トレーニングルーム 2面 フットサルコート 1面 テニスコート 12面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部全体
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	5,957千円	5,957千円	5,957千円	
	共同研究費等	34,890千円	34,890千円	設備購入費	153,044千円	153,044千円	153,044千円	図書購入費には電子 ジャーナル・データ ベースの整備費(運 用コストを含む。)を 含む。	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,620千円	1,380千円	1,380千円	1,380千円	-千円	-千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、寄付金、補助金、資産運用収入及びその他の収入							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東 京 都 市 大 学										備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
理工学部	4	620	—	2,850	—	1.02	1.00	—	昭和24	世田谷区 玉堤1-28-1	令和2年度入学生より工学部から名称変更
機械工学科	4	120	—	480	学士 (工学)	0.99	1.03	—	昭和24		
機械システム工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.06	0.99	—	平成9		
原子力安全工学科	4	45	—	180	学士 (工学)	1.06	1.11	—	平成20		
医用工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.04	0.96	—	平成19		
電気電子通信工学科	4	150	—	520	学士 (工学)	0.99	0.98	—	昭和24		
エネルギー化学科	4	75	—	290	学士 (工学)	1.02	0.96	—	平成9		
自然科学科	4	60	—	60	学士 (理学)	1.01	1.01	—	令和2		
建築学科	4	—	—	340	学士 (工学)	—	—	—	昭和24		
都市工学科	4	—	—	300	学士 (工学)	—	—	—	昭和32		
建築都市デザイン学部	4	220	—	220	—	0.98	0.98	—	令和2	世田谷区 玉堤1-28-1	令和2年度入学生より知識工学部から名称変更
建築学科	4	120	—	120	学士 (工学)	0.98	0.98	—	令和2		
都市工学科	4	100	—	100	学士 (工学)	0.98	0.98	—	令和2		
情報工学部	4	180	—	1,010	—	1.08	1.00	—	平成19	世田谷区 玉堤1-28-1	令和2年度入学生より知識工学部から名称変更
情報科学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.12	0.97	—	平成19		
情報通信工学科	4	—	—	120	学士 (工学)	—	—	—	平成19		
知能情報工学科	4	80	—	310	学士 (工学)	1.08	1.03	—	平成19		
自然科学科	4	—	—	180	学士 (工学)	—	—	—	平成21		
環境学部	4	160	—	640	—	1.03	0.96	—	平成25	横浜市都筑区 牛久保西3-3-1	平成31年度入学生より工学部から名称変更
環境創生学科	4	90	—	360	学士 (環境学)	1.02	0.94	—	平成25		
環境経営システム学科	4	70	—	280	学士 (環境学)	1.04	0.98	—	平成25		
メディア情報学部	4	180	—	720	—	1.08	0.97	—	平成25	横浜市都筑区 牛久保西3-3-1	平成31年度入学生より工学部から名称変更
社会メディア学科	4	90	—	360	学士 (社会情報学)	1.05	0.95	—	平成25		
情報システム学科	4	90	—	360	学士 (情報学)	1.10	1.00	—	平成25		
環境情報学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成9	横浜市都筑区 牛久保西3-3-1	平成31年度入学生より工学部から名称変更
情報メディア学科	4	—	—	—	学士 (環境情報学)	—	—	—	平成14		
都市生活学部	4	160	—	640	—	1.06	1.05	—	平成21	世田谷区 等々力8-9-18	令和2年度入学生より工学部から名称変更
都市生活学科	4	160	—	640	学士 (都市生活学)	1.06	1.05	—	平成21		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度			
人間科学部	4	100	—	400	—	1.04	1.07	—	平成21	世田谷区 等々力8-9-18		
児童学科	4	100	—	400	学士 (児童学)	1.04	1.07	—	平成21			
大学全体	4	1,620	—	6,480	—	—	—	—	昭和24	—		
大学院												
総合理工学研究科	—	314	—	647	—	—	—	—	昭和41	世田谷区 玉堤1-28-1	平成30年度入学生 より工学研究科 から名称変更	
機械専攻 (修士課程)	2	60	—	120	修士 (工学)	0.95	1.01	—	昭和41			
電気・化学専攻 (修士課程)	2	66	—	132	修士 (工学)	1.15	1.09	—	平成21			
情報専攻 (修士課程)	2	66	—	132	修士 (工学)	0.67	0.68	—	平成21			
建築・都市専攻 (修士課程)	2	54	—	108	修士 (工学)	0.72	0.53	—	昭和41			
自然科学専攻 (修士課程)	2	15	—	15	修士 (理学)	0.33	0.33	—	令和 2			
共同原子力専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (工学)	0.89	1.13	—	平成22			
機械専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	修士 (工学)	0.19	0.12	—	昭和43			
電気・化学専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.50	0.25	—	平成21			
情報専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.41	0.25	—	平成21			
建築・都市専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	1.29	0.12	—	昭和43			
自然科学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士 (理学)	1.00	1.00	—	令和 2			
共同原子力専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (工学)	0.66	0.25	—	平成22			
機械システム工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	—	—	昭和43		平成30年度 学生募集停止 平成30年度 学生募集停止 平成30年度 学生募集停止 平成30年度 学生募集停止	
生体医工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	—	—	平成21			
都市工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	—	—	昭和56			
システム情報工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	—	—	平成18			
環境情報学研究科	—	28	—	58	—	—	—	—	平成13	環境情報学専攻 横浜市都筑区 牛久保西3-3-1		
環境情報学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (環境情報学)	0.55	0.60	—	平成13			
都市生活学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (都市生活学)	1.08	0.83	—	平成25	都市生活学専攻 世田谷区 等々力8-9-18		
環境情報学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (環境情報学)	3.16	3.00	—	平成17			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含むため非公開

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 自然科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 授業期間等 1 学期の授業期間 1 4 週 1 時限の授業時間 1 0 0 分	① 授業期間等 1 学期の授業期間 1 2 週 1 時限の授業時間 1 1 0 分 新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、令和 2 年度前期に限定して変更することとした。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 教育改革を推進し教育の質的向上及び発展に資することを目的として設置された教育開発機構の元に、FD推進センターを設けている。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 令和元年度は、7回の会議を実施した。11名の教員により組織されており、会議の参加率は、約7割であった。 c 委員会の審議事項等 FD推進センターでは、全学的なFDに関する活動の企画及び立案、その実施までを担っている。また、各種刊行物を通して、学内外にその内容を広報しており、教育改善に関する情報共有及び理解の浸透を図るとともに、全学的な取り組みと各学部・学科等における独自の取り組みの相互活性化に繋げている。
② 実施状況(主に令和元年度の実績) a 実施内容(以下は、主要なものである。) ■全学FD・SDフォーラムの開催 ■教職員と学生との協働FD懇談会の開催 ■全学授業公開の実施 ■FD・SDワークショップの開催 b 実施方法 ■全学FD・SDフォーラムの開催 本学全専任教職員を対象として実施。教員の参加率は7割以上となる年間で最大のFD行事である。令和元年度は、第1部は、「学生を育てる評価方法～評価方法の多様性と学修成果可視化の促進～」と題して、第2部は、「創立90周年を迎えてのアクションプラン2030の今後の展開～全教職員の力で実現させる大学改革～」と題して開催した。

■教職員と学生との協働FD懇談会の開催

本学における教育活動の質的向上を図るにあたって、学生の意見も反映させることを目的として、学生FD委員を公募している。学生FD委員は、教職員と学生との協働FD懇談会に参加し、学生個々の実感を教員に投げかけて議論することで、教育改善に貢献している。令和元年度の教職員と学生との協働FD懇談会では、3ポリシーやシラバスについての現況把握と問題点について議論し、満足度や推奨度を高めるためのアイデアを出し合った。

■全学授業公開の実施

各教員が相互に授業を見学することにより、授業の内容及び方法の改善に繋がる気付きや発見が可能となるよう、原則として全ての開講授業を公開し、自由に見学できる期間を設けている。各教員は期間中、他の教員が担当する授業を自由に見学し、授業後には担当教員にフィードバックを行うことで、互いの授業に新しい気付きをもたらすことを企図している。令和元年度は、3回の公開期間を設けた。

■FD・SDワークショップの開催

年に1度、合宿形式で開催している。新任教員及び事務職員が合同で参加し、本学の教育面での課題や発展の方策についてそれぞれの立場から意見交換を行うことで、教職協働で共通理解の形成に取り組んでいる。令和元年度の新任教員の参加率は約8割で、テーマは「学生を育てる：持続可能な社会発展に貢献する主体的な学びとは」。本学の教育理念・教育目標と関連深い「持続的な社会の発展に貢献する人材」や「主体的な学び」について議論した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員には、年間を通じて最低1回以上のFD参加を義務付けていることから、参加率は概ね100%を達成している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各種刊行物を通して、教育改善に関する情報共有及び理解の浸透を図るとともに、全学的な取り組みと各学部・学科等における独自の取り組みの相互活性化に繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期終了時に、原則として全ての科目を対象に「学生による授業評価アンケート」を行い、学生の学修実態等を把握するとともに、授業に対する学生の意見を取り入れることで授業改善に活用している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、匿名化したうえで原則として開示し、各学部・学科のWebページや各授業科目のシラバス、教職員と学生との協働FD懇談会をはじめとしたイベント等を通して、学生へのフィードバックを行っている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

理工学部自然科学科では、「物理学・化学・生物学・地球科学・天文学及び数学といった自然科学に関する幅広い知識の涵養により、総合的な見識と健全な判断力を醸成し、自然科学における様々な現象を理学的視点により探究できる人材や広範な理学分野の学術的発展に寄与する調査分析能力を身につけた人材を育成することで、複雑化および多様化する社会に柔軟に対応できる人材や科学と社会の架け橋となって人類の持続可能な進歩や福祉に貢献する人材を養成する」ことを人材の養成及び教育研究上の目的としている。

設置計画に基づき、開設初年度の4月までの期間において設置の趣旨・目的が達成できるよう以下の取り組みを進めた。

■学生募集

学生確保に向けた取り組みとして、特設ウェブサイトの作成、オープンキャンパスや高校教員向け説明会の実施、全国各地で開催されている進学相談会への参加、高校での進学説明会や出張授業の実施等を行い、本学科が養成する人材像とアドミッションポリシーの浸透を図った。その結果、志願者数は1,328名、志願倍率は22.1倍と高倍率となった。

■教職課程の認定

中学校教諭一種免許状（数学・理科）及び高等学校教諭一種免許状（数学・理科）の教職課程認定申請を行った結果、令和元年11月22日付で文部科学大臣より認定を受けた。

■新入生オリエンテーション

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面でのクラス担任ガイダンスやフレッシュャーズキャンプの実施を見送らざるを得なかった。これに代替するものとして、双方向通信アプリを用いたオンラインでの履修指導やメール等による個別面談等を行うことで、新入生が就学にあたって支障をきたすことのないよう最大限の配慮を行った。

引き続き、設置の趣旨・目的を達成できるよう尽力する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年7月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和2年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○東京都市大学教育開発機構規程

(設置)

第1条 東京都市大学（以下「本学」という。）に、教育開発機構（以下「機構」という。）を置く。

(目的)

第2条 機構は、本学における教育改革を推進し、教育の質的向上及び発展に資することを目的とする。

(構成員)

第3条 機構に、機構長及び副機構長を置く。

- 2 機構長は、機構を統括し、機構を代表する。
- 3 機構長は、副学長の中から学長が任命する。ただし、副学長を置いていない場合は、本学専任教授の中から学長が任命する。
- 4 機構長の任期は、機構長に副学長があたる場合を除いて2年とし、再任を妨げない。
- 5 副機構長は、機構長を補佐し、機構長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 6 副機構長は、本学専任教授の中から学長が任命する。
- 7 副機構長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(組織)

第4条 機構に、次の組織（以下「各組織」という。）を置く。

- (1) 数理・データサイエンスセンター
- (2) FD推進センター
- (3) 教育開発室
- (4) 教育アセスメント室
- (5) ICT戦略室

- 2 各組織の運営にあたり必要な事項は、別に定める。

(センター長及び室長)

第5条 前条に掲げる各組織に、センター長又は室長（以下「責任者という。」）を置く。

- 2 責任者は、本学教職員の中から学長が任命する。

(室員)

第6条 各組織に室員を置く。

- 2 前項の室員以外に、機構長の判断により機構全体又は特定の任務に当たる室員を置くこ

とができる。

- 3 室員は、機構長が本学教職員の中から指名する。
- 4 室員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 5 機構長は、室員の中から、副センター長又は副室長（以下「副責任者」という。）を指名することができる。

（運営会議）

第7条 機構に、教育開発機構運営会議（以下「運営会議」という。）を置く。

- 2 運営会議は、機構長が招集し、議長となる。
- 3 運営会議は、次の者で構成する。
 - (1) 機構長
 - (2) 副機構長
 - (3) 責任者
 - (4) 副責任者
 - (5) 業務若しくは役割に応じて機構長が必要と認める室員
- 4 運営会議は、前項に定める構成員の3分の2以上の出席で成立し、議事は出席構成員の過半数により決する。
- 5 機構長は、必要に応じて第3項に定める構成員以外の者を会議に出席させることができる。

（連携）

第8条 機構は、第2条の目的を達成するため、学部学科及びその他の学内組織と緊密な連携を図るものとする。

（所管部署）

第9条 この規程の所管部署は、事務局企画・広報室とする。

（改廃）

第10条 この規程の改廃は、学長会議の議を経て、学長が行う。